

Br. Holdings Report

第18期 中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日

証券コード：1726



小乗浜橋
宮城県(小乗浜復興道路)



株式会社 ビーアールホールディングス

Br.Holdings



代表取締役社長

藤田 公康

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

さて、当社第18期の第2四半期連結累計期間の決算(2019年4月1日から2019年9月30日まで)が終了しましたので、当社グループの業績及び事業活動の概況をご報告させていただきます。

・当社グループの手持工事高は50,170百万円と過去最高となりました。

上半期受注高が15,887百万円と前年同期(13,709百万円)から15.9%増加し、当上半期の手持工事高が50,170百万円と前年同期(43,635百万円)を15.0%上回り過去最高を更新しました。上半期の売上高は、前年から繰り越した大型工事の進捗が伸び、13,780百万円と前年同期(10,480百万円)から31.5%と大幅に増加しております。経常利益は399百万円と前年同期(68百万円)の5.86倍、純利益も212百万円と前年同期(7百万円)の30.28倍と大幅に増加し、昨年の一時的な減少から、持続可能な成長の過程へ復活した結果となりました。

・インフラストラクチャーの強靱化と長寿命化への取り組み

当社グループは鉄道砂利工業(株)として、戦争で荒廃した鉄道事業の復興を目的として昭和23年に創業いたしました。その後も道路や上下水道の整備、高度成長期の高速道路の建設事業に長年真摯に取り組んでまいりました。その社会資本ストックも、更新時期を迎えつつあり、当社グループも東海道新幹線の枕木交換事業、東北地方の復旧・復興事業、高速道路の大規模更新事業など生活を支えるインフラストラクチャーの更新や長寿命化に取り組

んでおります。当期間中は中国自動車道、烏帽子第一橋床版取替工事や宮城県震災復興事業として相川1号橋などを施工しております。

また、当社は13大学、6機関と既存構造物の強化や補修に関する共同研究を長年にわたり続けてまいりました。この研究はコンクリートの劣化防止や既存構造物の基礎強化、上下水道の更新や劣化防止などライフラインの強靱化に貢献するとともに、グループ内の工学博士や専門技術者の育成にも寄っております。

・生産性向上と働き方改革への取り組み

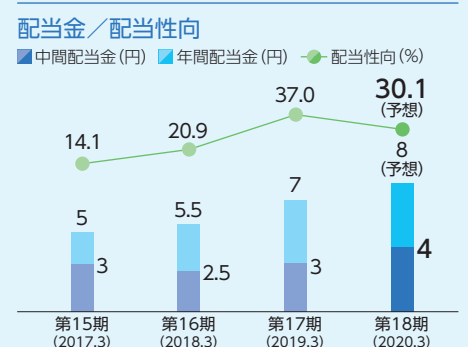
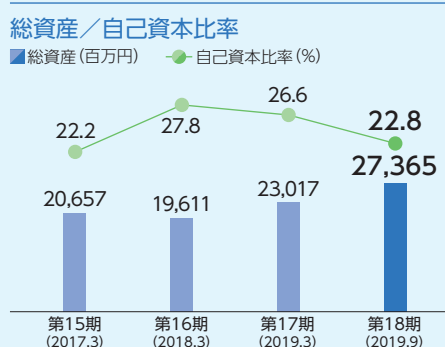
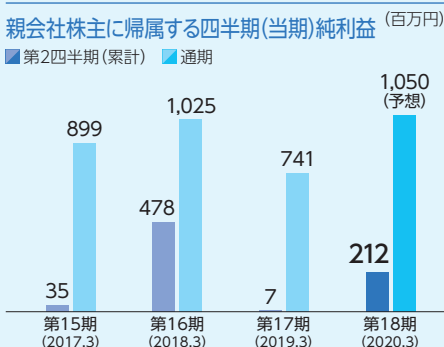
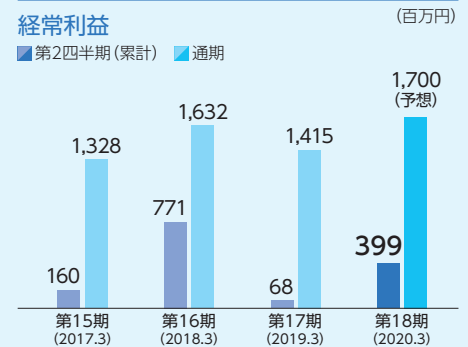
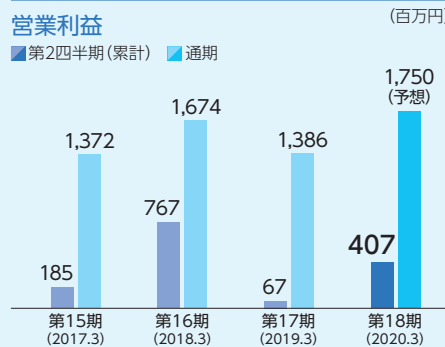
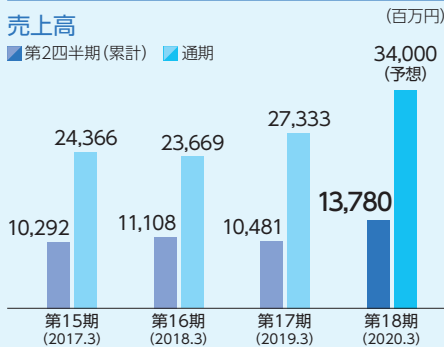
当社グループは、持続的な成長及び働き方改革に取り組むため、生産性向上が不可欠と判断し、「省人化・省力化」及び「工期短縮」「品質向上」を目的として、生産設備の拡充に努めてまいりました。当期間中はキョクトウ高宮(株)でPC床版製造ラインの増設など、生産性向上のための設備投資を実施しております。

また、社員のワークライフバランスの実現に向け、長時間労働を抑制し、ゆとりある休暇の取得に取り組んでおります。

今後とも、補修・補強や生産性に関する技術開発を積極的に推進し、技術で社会に貢献する企業として、より多くの株主の皆様のご期待にお応えできるよう邁進してまいりますので、引き続きのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年11月

連結財務ハイライト



(注)2016年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。第15期の中間配当金については、当該株式分割前の配当金の額を記載しております。

本工事は、西日本高速道路株式会社発注の高速道路リニューアルプロジェクト(大規模更新事業)の一環として、中国自動車道広島北JCT～広島北IC間に位置する烏帽子第一・第二橋の床版取替工事です。損傷した鉄筋コンクリート床版を、より耐久性の高い床版に取り替える工事であり、当社江津PC工場(島根県)にて製作を行ったプレキャストPC床版を使用しております。



当社グループはパブリックカンパニーとして地域に根差した活動を大切にしています。特に地元の園児・小学生を対象とした現場見学会や橋面のお絵かき大会は毎回好評で、子どもたちが自分の住む地域への関心や建設業への興味を更に深めてもらえたらと願います。



軟弱な地盤に対してH鋼杭を建込みHストラスを架設し、くさび式支保工の組立てが行われています。



地元自治会の皆様との草刈りや地域の子どもたちを対象とした現場見学会を開催しました。皆初めて乗る高所作業車に興奮しながら完成間近となった橋梁の説明を熱心に聞いていました。

会社概要

(2019年9月30日現在)

商号	株式会社 ビーアールホールディングス Br.Holdings Corporation
設立	2002年9月27日
本社所在地	広島市東区光町二丁目6番31号
電話	082-261-2860(代表)
資本金	3,017,041,000円
決算期	3月31日
従業員数	14名(連結567名)

代表者及び役員

(2019年9月30日現在)

代表取締役社長	藤田 公康
取締役	山根 隆志
取締役	山 縣 修
取締役	石 井 一生
取締役	天 津 武 史
取締役・常勤監査等委員	田 坂 昌 博
取締役・監査等委員(社外)	小 田 清 和
取締役・監査等委員(社外)	佐 上 芳 春

株式の状況 Stock Information

株式の状況

(2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	39,700,000株
株主数	34,359名

●大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
トウショウアセットマネジメント株式会社	4,000	10.13
藤田公康	2,775	7.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,001	5.07
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,505	3.81
ビーアールグループ社員持株会	1,156	2.93
広成建設株式会社	988	2.50
ビーアールグループ取引先持株会広島支部	944	2.39
ビーアールグループ取引先持株会大阪支部	854	2.16
株式会社三菱UFJ銀行	800	2.03
トウショウ産業株式会社	800	2.03

(注)持株比率は自己株式(195千株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777(通話料無料)

同連絡先

上場証券取引所 東京証券取引所(市場第1部)

電子公告により行う。
当社ホームページ
(<https://www.brhd.co.jp/ja/ir/announce.html>)にて掲載。

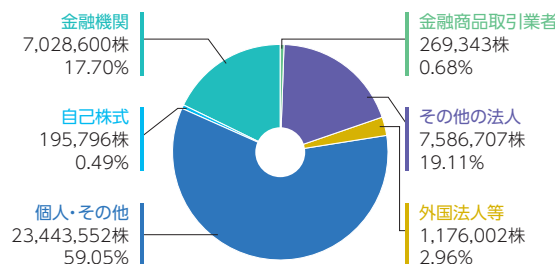
公告の方法

(ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)

株式分布状況

(2019年9月30日現在)

●所有者別株式分布状況



●地域別株式分布状況

